

二〇二一年

# 関西哲学会第六十四回大会

——プログラム・研究発表要旨——

とき 十月十五日（土）

十月十六日（日）

ところ 龍谷大学 大宮学舎 清和館

## 目次

大会プログラム

個人研究発表要旨 (十五日)

発表者

浅野幸治

鵜殿 慧

枝村祥平

岡本源太

木村春奈

小石川加奈

坂井礼文

西村正秀

早坂真一

上野 修

個人研究発表要旨 (十六日)

発表者

赤嶺宏介

君嶋泰明

山川 仁

山口 尚

嶺 秀樹

課題研究発表要旨

報告者

石川 徹

伊勢俊彦

檜垣立哉

■  
■  
■  
大  
会  
プ  
ロ  
グ  
ラ  
ム  
■  
■  
■

# 大会プログラム

〈第一日〉十月十五日(土)

□個人研究発表「九時〜二時」

- (1) P・シンガーの「援助する義務」論  
——距離はどのように道徳的に重要か——

- (2) ヒューム哲学における蓋然的推論の認識論上の地位  
ステイタス

- (3) 初期ライプニッツにおける物体の形而上学  
——一六七一年に焦点をあてて——

- (4) ジョルダノ・ブルノにおける無為と労苦 —— 道徳の逆説 ——

- 休憩(委員会「二時〜三時」)  
□個人研究発表「三時〜七時三〇分」
- (5) ジル・ドウルーズ『差異と反復』における第三の時間への導入

- (6) 記号が認識の客観性に及ぼす影響について  
——心理学主義と反心理学主義の立場から——

- (7) 古代の書記術について  
——シュトラウスがコジェーヴに与えた影響——

- (8) 表象の相互情報量理論の擁護

司会 浅野 幸治(豊田工業大学)  
品川 哲彦(関西大学)

司会 鵜殿 慧(関西学院大学)  
宗像 恵(神戸大学)

司会 枝村 祥平(ライス大学)  
松田 毅(神戸大学)

司会 岡本 源太(関西大学)  
山口 義久(大阪府立大学)

司会 木村 春奈(立命館大学)  
佐藤 義之(京都大学)

司会 小石 原加奈(京都大学)  
小林 道夫(龍谷大学)

司会 坂井 礼文(京都大学)  
石崎 嘉彦(摂南大学)

司会 西村 正秀(滋賀大学)  
中山 康雄(大阪大学)

(9) 命題の名詞化による「事態」の構成——発生的現象学の観点から——

(司会)

早坂真一(神戸大学)

(10) スピノザ『エチカ』の「定義」

(司会)

工藤和男(同志社大学)  
上野修(大阪大学)  
吉永和加(岐阜聖徳学園大学)

□懇親会「二八時〜二〇時」

〈第二日〉十月十六日(日)

□個人研究発表「九時〜二二時」

(11) カントの「批判」における「限界」の比喩

(司会)

赤嶺宏介(京都大学)  
入江幸男(大阪大学)

(12) 形式的告示が持つ含意

——ハイデガー「初期フライブルク講義の解釈を通して」——

(司会)

君嶋泰明(京都大学)  
須藤訓任(大阪大学)

(13) われわれが知覚しない間も、物は存在するのか？

——バークリにおける「知覚対象の継続性の問題」・再考——

(司会)

山川仁(京都大学)  
松田克進(広島修道大学)

(14) 極大的に完全な神へ

——ユウジン・ナガサワによるアンセルムスの神学の擁護——

(司会)

山口尚(京都大学)  
川添信介(京都大学)

□休憩(編集委員会)「二二時〜二三時」

□個人研究発表「二三時〜三時四五分」

(15) 西田哲学とヘーゲル

(司会)

嶺秀樹(関西学院大学)  
藤田正勝(京都大学)

□総会「二三時四五分〜一四時一五分」

□課題研究発表「二四時一五分〜一七時一五分」  
テーマ「ヒューム（生誕二百年記念）」

（報告者）

（司会者）

石川 徹（香川大学）  
伊勢 俊彦（立命館大学）  
檜垣 立哉（大阪大学）  
伊藤 邦武（京都大学）  
富田 恭彦（京都大学）